

地域社会との緊密な連携を築く

## 学校・家庭・地域で連携して子どもを育てるPTA活動

知多市立岡田小学校PTA

### 1 はじめに

本校は、令和4年度に開校150周年となる伝統校である。本校区は、古くから先祖代々住んでいる人と新興住宅に住んでいる人が混在している。新しい人も比較的昔から住んでいる人になじんではいるが、少しずつ地域としての一体感は薄れつつある。地形は丘陵地帯で谷もあり、坂が多い。岡田春まつりは住民の地域力のシンボルとなっている。今年度は祭りは行われなかったが、3年ぶりに山車のお披露目があった。

江戸時代から知多木綿の織物産業が始まり、昭和40年代は特に栄え、昔の建造物がそのまま文化財になっており、当時を忍ぶことができる。岡田コミュニティがしっかりしており、岡田街並保存会があり、本校はその関わりが強い。本校に隣接する岡



【150周年記念航空写真】

田まちづくりセンターに知多市観光協会も設置され、岡田の街並を散策される方の対応や2月の梅まつりの対応もしている。

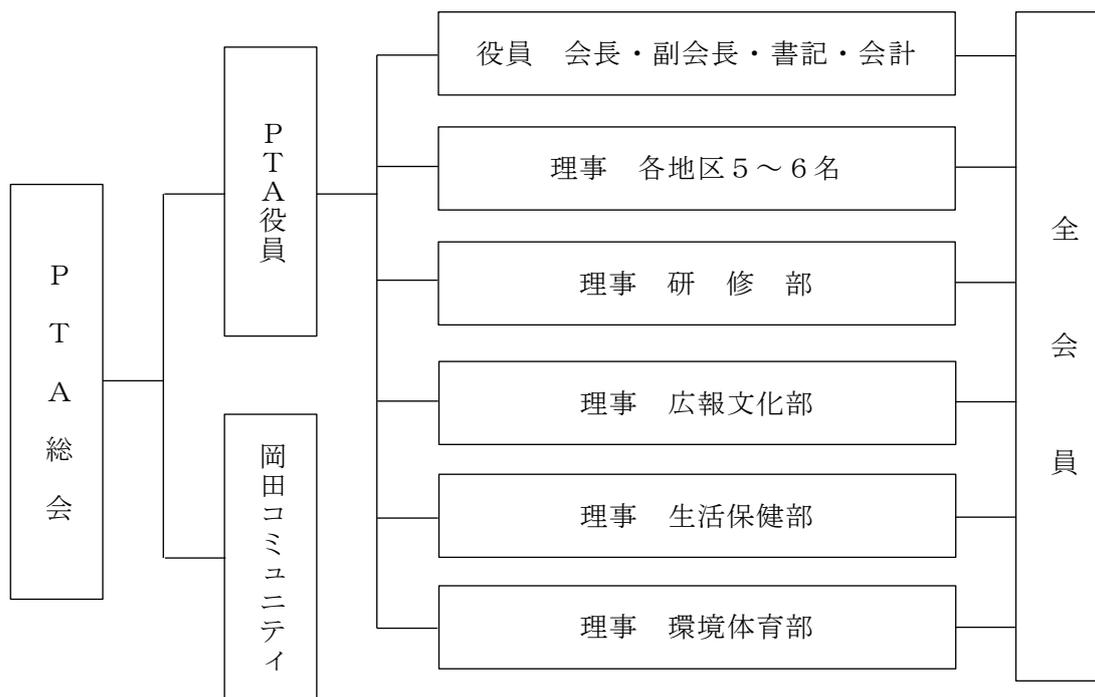
### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

特色ある教育活動として、主に総合的な学習の時間を活用し、岡田街並保存会や祭り保存会の協力を得て、系統的に学習活動を展開している。3年生では祭り保存会の方を講師として招き、祭り囃子の演奏やからくり人形の操作を体験している。6年生では、岡田神明社雅楽部に依頼し、音楽科の授業の一環として古典音楽（雅楽）の鑑賞会を行っている。また、岡田街並保存会と提携して、「岡田の街並書画写真展」として、3から6年生は毛筆、2・4・6年生は絵画を出品している。絵画の構図を考えるために、タブレット端末を用いて、寺院や古い街並を撮影に行っている。その際、岡田街並保存会の方が、児童の見守りをしてくださっている。

今年度は、岡田まちづくりセンター作品展やコミュニティスポーツフェスティバル、三世代交流会など、3年ぶりに開催された地域の行事等もある。それでもコロナ禍によって行事等が中止・縮減されている状況の中、学校・家庭・地域が連携をして子どもを見守り、育てるという意識をもって協力・連携体制をとり、学校教育活動を進めていくために参画していただく取組を展開することにした。

## (2) 研究の組織



## 3 実践活動の概要

### (1) 児童の安全・安心

#### ① 登校時の交通当番・下校時の見守り

PTA生活保健部が中心となり、登校時の交通当番表を作成しており、登校時には、当番の保護者や交通指導員が通学路の主要交差点に立ち、児童の横断時の安全確保をしている。

下校時には、交通指導員や民生児童委員を中心に組織された「見守り隊」が、児童の交通安全や不審者対策のために自宅付近の通学路に立ち、声掛けなどを行っている。見守りをしてくださっている方々に児童会から感謝の手紙を送っている。令和3年度は、コロナの影響で、代表の方1名に手紙をお渡しし、他の方々には、手紙を発送した。

#### ② 知多中校区小中連携あいさつ運動

本校児童の主な進学先である知多市立知多中学校の校区全域を拠点とする、生徒指導推進協議会主催の「知多中校区小中連携あいさつ運動」を学期に1回実施している。今年度は、各小中学校区での取組となったが、PTA役員や保護者、教職員、児童会や生徒会の児童生徒など地域からは民生児童委員などが参加し、登校中の児童生徒と元気なあいさつを交わしている。



【朝のあいさつ運動】

## (2) 学校環境の整備（各種ボランティア）

### ① 花ボランティア

卒業式や入学式など主要な行事に向けた花壇整備をPTA協力のもと、進めている。PTAの環境体育部が中心となり、年に3回程度「花ボランティア」を行っている。1学期はポットに苗の植え替えを行った。参加された方々は、慣れた手つきで作業に取り組み、予定されていた苗をすべて移し替えていただいた。今年度は天候不順のため、7月の花壇への定植作業は委員会の児童で行った。今後は2学期末にはパンジーの苗を花壇や鉢に移し、3学期には卒業式・入学式に向けた整備や来年度に向けた準備等を計画している。



【花ボランティア】

### ② おやじ隊による環境整備

おやじ隊は、子どもたちのよりよい学校生活のためという思いから、児童の保護者が集まって発足した。おやじ隊は、今では在校児童の保護者に限らず、卒業した児童の保護者や地域住民で構成されている。令和2年度からコロナ対策や夏の熱中症対策として、夏季休業中の親子除草は中止となっている。そのため、同じ夏季休業中におやじ隊が校内外の環境整備を行っている。今年度は、遊具のペンキ塗りとなわとびのジャンプ台作成・整備を行った。



【おやじ隊の活動】

2学期には除草作業や樹木剪定など、校地整備を予定している。おやじ隊の活動もコロナ禍の影響により過去2年間は活動を縮小せざるを得なかった。参加された方からは、「やることがあったらどんどん言ってください」という、前向きなご意見をいただいた。

本校では上記以外にも、5・6年生の家庭科で行うミシンの授業で「ミシンボランティア」を募っている。毎回多くの方が協力していただき、授業を円滑に進めることができている。また、PTA活動から派生した読み聞かせボランティア「ととろの部屋」もコロナ禍ではあるが、活動を続けている。PTAに限らず、地域住民にも声掛けをして参加を募っている。今年度は年に2回、各学級で読み聞かせを行っていただいている。この他にも市の学習支援ボランティアに登録されている方に授業での児童支援や校外学習の付き添いをお願いしたり、学校図書館の整備を手伝ったりしていただいている。このように学校に協力的な姿勢で取り組んでいただいている方々の気持ちを大切に、今後も活動を継続していきたいと考える。

### (3) 学習活動の支援

#### ① 3年生総合的な学習「お祭り体験」

祭り保存会に依頼をし、令和元年度までは、体育館でからくり人形操作や笛・太鼓演奏、山車ねじ回しなどを3年生児童が体験していた。令和2年度は運動場で太鼓演奏のみ行い、令和3年度は実施できなかった。今年度は、祭り保存会の方を講師として招き、12月に岡田の祭りについて話を伺う予定である。講師の方と3年担任との事前打ち合わせでは、3学期に山車の模型や人形を実際に見せていただいたり、和楽器に触れたりできるように話を進めている。まだコロナ禍前のような規模では実施できないものの、可能な限り体育館に岡田の祭りに関わるブースを用意していただき、子どもたちが実際に見聞きできるような体験活動を予定している。



【お祭り体験】

#### ② 6年生音楽科「雅楽鑑賞会」

6年生の音楽の授業の一環として、岡田神明社雅楽部に依頼をし、古典音楽（雅楽）の鑑賞会を行っていた。令和2年度からは実施できていないが、神明社からは実施できるようであれば、ぜひ継続していきたいという話を伺っている。今年度、岡田春まつり自体は開催されなかったが、例祭では本校女子児童が4名選抜されて、巫女舞を披露している。



【岡田春まつり】

#### ③ その他

上記以外にも複数学年で、総合的な学習の時間などで、市や地域の方に講師としてお話をさせていただく機会がある。単に地域の講師としてのつながりではなく、歴史ある街だからこその諸団体、諸機関との連携を継続していきたいという学校・地域双方の思いがある。その思いが子どもたちにさまざまな形で還元できるように継続、調整をしていく必要がある。

## 4 おわりに

新型コロナウイルスの感染拡大は、地域社会との連携を推進しようとしていた本校PTA活動に大きな影響を与えた。しかし、学校や地域の行事で感染症対策を十分に行い、規模を縮小等して開催されたものも令和2・3年度より少しずつ活動を広げている。今後も感染状況を考慮しつつ、実際に顔を合わせ交流していくことで、家庭や地域との連携を強化していく。そして、歴史ある岡田地区の未来を担う子どもたちを共に見守り、育てていきたい。